



明治大学・タイ国立シーナカリンウィロート大学 Joint Program 2011

第一回学生交流プログラム終了

シーナカリンウィロート大学との大学間協定に基づく、本学部の短期留学生の受け入れ(5月2日～29日)は、この度、全てのプログラム日程が終了し、第一回目の学生交流は盛況のうちに終わりました。

本プログラムは、大学創立130周年を迎える今年度に行われるプログラムとして、また、同大学から政治経済学部への第一回目の短期留学生の受け入れとして、入念な準備がなされてきました。折しも、東日本大震災の影響により、研修開始日の繰り下げや参加予定者の渡航自粛による留学生数の縮小などの調整が必要とされましたが、5月2日にシーナカリンウィロート大学の3学部より合計9名の学生が来日し、無事にスタートをすることができました。

プログラム内容

短期留学生は、本学教員による英語での特別講義を受講する他、社会施設見学として、国会議事堂や東京証券取引所、時事通信社などを訪問して日本の政治経済を広く学びました。また両国の政治、経済、文化に関するディスカッション、「山中セミナーハウス」における合宿を行い、学修の研鑽を積みながらお互いの交流を深めました。

一ヶ月の滞在期間を余すことなく利用した、充実したプログラム構成となりました。

5月27日最終日にはプログラム修了式が挙行政され、駐日タイ王国大使館特命全権大使、次席公使が臨席される中、大野野政治経済学部長より一人ひとりの短期留学生へ修了証が手渡されました。修了式に引き続き、「お別れパーティ」が開催され、外務省、厚生労働省、短期留学生の訪問先企業からの来賓をお迎えし、学内関係者、サポーター学生とともに、プログラムの成功を祝うとともに今後の両大学の協力協定のさらなる発展を祈念しました。

「サポーター学生」の活躍

本学部では、こうした海外からの短期留学生の、学内外の生活をバックアップするために、学部生からの公募による「サポーター学生」の制度を整えています。

本プログラムにおける、「サポーター学生」の活躍は目覚しく、短期留学生の日々の生活のサポートに始まり、学外では食事をもとにし、東京観光案内や近隣の諸施設への同道など活発に行われました。週末にはディズニーランドを楽しむなど、沢山の思い出を作りました。

「サポーター学生」のメンバーは、本学部の英語実践力特別強化プログラム「ACE」などで培った、サポート役として相応な語学力を持つ学生で、各自が大きな力を発揮しました。5月27日に駐日タイ王国大使館の大使、次席公使が学内を視察された際には、施設の説明を英語で行うなど、見事に役割を果たしました。「サポーター学生」として本プログラムに関わった学生それぞれが、この経験により今後の学生生活における新たな目標を定めることができたのではないかと思います。

創立130周年を迎える今年度の国際交流に相応しい、記念すべき学生交流プログラムになりました。

